

授業科目 住まいの環境

【担当教員名】 五十嵐 由利子	対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・健栄・スポ・社会・看護・情報
	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	

【概要・一般目標：GI0】
 人の生活や住居に関する環境を整理し、専門職として必要な視点を養う。特に、障がい者や高齢者が住みやすいバリアフリー環境について、その実際を理論とともに学習する。

【学習目標・行動目標：SB0】
 住まいの安全性に関わる基本的事項について理解する。さらに、障害者や高齢者の住みやすい住環境の整備の仕方について分かる。

回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	住居の機能		講義
2	住居内事故とその要因		講義
3	住居の温熱環境にかかわる基本的事項と課題		講義
4	住居の空気環境にかかわる基本的事項と課題		講義
5	動作空間と平面計画		講義
6	障害者の住環境整備		講義
7	高齢者の住環境整備		講義
8	住居におけるバリアフリーとユニバーサルデザイン		講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	住環境科学	梁瀬度子、長沢由喜子、朝倉書店		1995・3,800円
	高齢者が気持ちよく暮らすには	国嶋道子 日本建築学会編	技報堂出版	2005・1,800円
その他の資料				

【評価方法】 毎時間のミニテストの結果により評価するが、特に最終日のミニテストは全般にわたる内容を範囲とするため、評価点の配分を大きくする。	【履修上の留意点】 授業内容に関するプリントを配布し講義を進めるので、メモを追加したり、ノートをしっかり取ること。ミニテストの結果を持って評価するので、欠席が2回でも、また出席していても評価が悪ければ不合格となる。特に最終日は必ず出席するよう準備をすること。
---	--